

環境分野

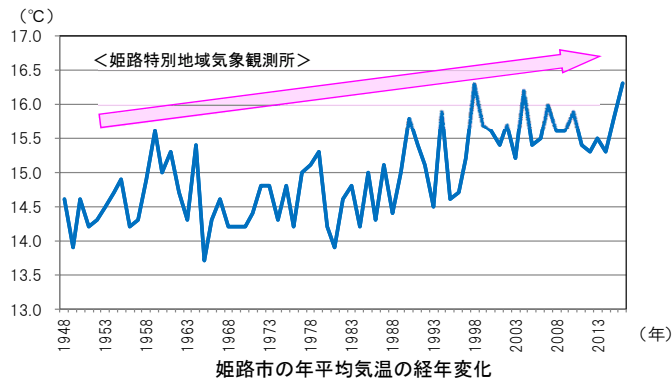
目標 ～環境にやさしいまち～

市民、事業者、行政などすべての主体が、環境の大切さを理解し、日常生活や経済活動の中での低炭素化に向けた取組や自然と人の共生、資源の循環が進んだ、持続可能な社会の実現を目指します。

【背景】

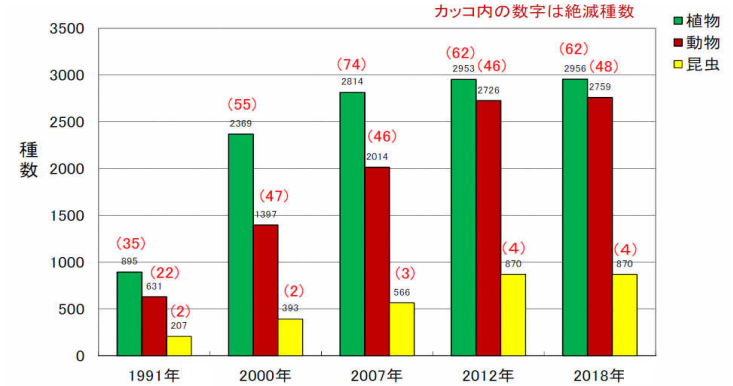
- 地球温暖化の進行（※1）や天然資源の枯渇、良好な自然環境の喪失に伴う生物多様性の損失（※2）など、地球規模での環境問題が深刻化する中、気候変動に対する具体的な対策を含む持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けては、地方自治体やその地域で活動するステークホルダー（利害関係者）による積極的な取組が求められています。
- 環境・経済・社会の課題が相互に関連、複雑化する中、国では、持続可能な社会の構築に向け、都市と農山漁村など各地域がその特性を活かした自立・分散型社会を形成し、域内において物資・人材・資金などの資源が循環しつつ、互いに補完し、支え合う「地域循環共生圏」の創造を目指しています。
- 本市では、ごみ排出量がわずかに減少傾向にあるものの、資源化率は低下傾向（※3）にあり、環境への影響に配慮しつつ、適正に廃棄物処理を行っていくためには、廃棄物の発生抑制（Reduce）、再使用（Reuse）、再資源化（Recycle）の3Rを進めるとともに、ごみの排出から、収集・運搬、処理までのごみ処理フローを安定的に機能させる必要があります。

※1 姫路市の平均気温

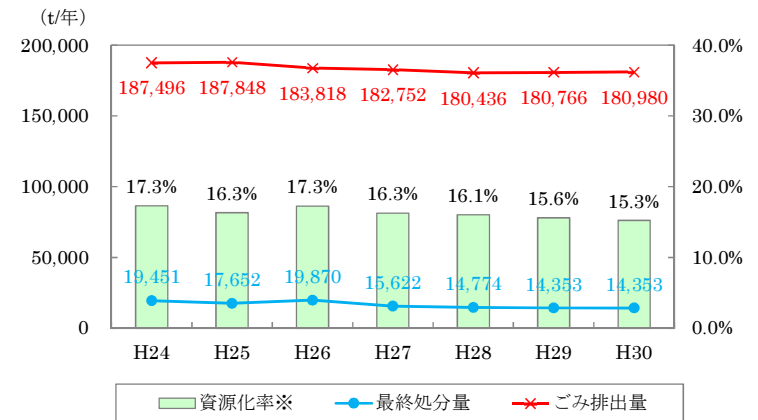


(資料) 姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】

※2 環境省レッドリスト掲載種数の推移



※3 ごみ排出量等の推移



単位:t/年

項目\年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
ごみ排出量	187,496	187,848	183,818	182,752	180,436	180,766	180,980
焼却等処理量	168,261	169,797	173,612	168,582	165,671	166,762	165,889
資源化量	32,402	30,711	31,723	29,735	28,967	28,213	27,616
資源化率※	17.3%	16.3%	17.3%	16.3%	16.1%	15.6%	15.3%
最終処分量	19,451	17,652	19,870	15,622	14,774	14,353	14,353

※ 資源化率＝資源化量÷ごみ排出量×100

(資料) 美化業務課、リサイクル推進課